産業文化祭の特設ステージで挙行された表彰式には本年度受賞者６人（団体）が出席しました。

茶業、医療、体育など、さまざまな分野で功績のあった人を表彰。

this month HighLight 今月の注目 3

長年の貢献に感謝の意 本年度の町長表彰７人受賞

産業文化祭の特設ステージでは
本年度の川根本町長表彰の表彰式が挙行されました。
さまざまな分野で貢献のあった７人（団体）を紹介します。

11月7日に開催された産業文化祭で、本年度の川根本町長表彰の表彰式が挙行されました。地方自治、地域医療、体育、産業の分野で特に顕著な功労があったと認められる人（団体）に贈られる賞で、本年度は7人（団体）が受賞されました。おめでとうございます。受賞者は次のとおりです。

※写真は表彰式のもよう。敬称略。

芹澤徳治（61歳・東藤川）
【地方自治功労】多年にわたり、元本川根町議会議員・元川根本町議会議員として町の振興発展に尽力。地方自治の伸展に貢献。

大下節男（71歳・下長尾）
【地域医療功労】多年にわたり、本町で地域医療に従事。住民の疾病予防や治療に専念し、医療・健康にかかる功績を残した。

山本秩子（69歳・上岸）
【体育功労】多年にわたり元町体育指導委員として町の体育スポーツ振興に尽力。町民の体力向上と健康増進に貢献。

農事組合法人あすなろ（久保尾・向井）
【産業功労】平成18年度、第60回全国茶品評会で農林水産大臣賞受賞。川根茶の名声を高め、茶業の振興発展に貢献。

農事組合法人わらやま（久保尾・原山）
【産業功労】平成18年度、第60回全国茶品評会で農林水産大臣賞受賞。川根茶の名声を高め、茶業の振興発展に貢献。

土屋鉄郎（71歳・水川）
【産業功労】平成20年度、第62回全国茶品評会で農林水産大臣賞受賞。川根茶の名声を高め、茶業の振興発展に貢献。

㈲川根香味園（千頭）
【産業功労】平成20年度の第62回全国茶品評会および平成21年度の第48回県茶品評会で農林水産大臣賞を受賞。川根茶の名声を高め、茶業の振興発展に貢献。

地域医療の功績が認められた大下節男さん。式典当日は欠席されたため、後日町長を訪問。

益井悦郎さんが入れたお茶を、楽しそうに談笑しながら味わう参加者。

川根茶の本場川根本町で、韓国人がお茶について学びました。

this month HighLight 今月の注目 4

韓国からのツアー客に 川根茶を活用したもてなし

韓国からのツアー参加者を本町に呼び込もうと、
ＮＰＯ法人かわね来風がさまざまなもてなしを企画しました。
浜谷友子さんは「川根茶の産地を知ってもらうことに意味がある」と話しました。

韓国から訪れたツアー客をお茶でもてなす

世界お茶まつり２０１０は10月28から31日の3日間、静岡市の県コンベンションアーツセンターグランシップなどを会場として開かれました。この催しに来場する韓国人ツアー参加者を川根本町に呼び込むプランをＮＰＯ法人かわね来風が企画し、10月27日に実現しました。

この日本町を訪れた参加者約70人は、最初に農林業センターを訪れ、茶の手摘みを体験。摘んだお茶は平かごに入れてしばらく乾燥させたあと、参加者に配られました。このお茶は各参加者の手によって、バスの中で手もみされました。

次の訪問地である茶茗舘では、益井悦郎さんが手摘み・手もみした茶葉でお茶を入れました。器に注がれたお茶は紅茶に近い黄色。一口飲むと、若草のようなさわやかな香りが口の中に広がります。このお茶を試飲した韓国人女性は「青くささが少しありますが飲みやすいです。紅茶っぽい味ですね」と話していました。

茶室では、参加者が半分にわかれ、茶茗舘スタッフの手ほどきを受けながら、川根茶を味わいました。試飲した参加者からは、「おいしい」という言葉が聞かれました。

本ツアーを企画したＮＰＯ法人かわね来風の浜谷友子さんは、「今回訪問した韓国の人たちはお茶の勉強をしている人たち。その人たちに川根本町という茶産地があるということを知ってもらうことに意義があると思い、この企画を組みました。これが次のステップへとにつながっていけばいい。そのための第一歩です」と手応えを感じている様子でした。

参加者一行はこの後、丹野浩之さん（水川）の茶園に足を運ぶなどして、一日かけて川根茶を満喫しました。

茶茗舘ではスタッフの手ほどきを受けながら川根茶を試飲しました。